

令和3年度「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」実証事業

入社からリタイアまでいきいきと働ける環境を実現する
女性の健康課題改善総合サービス事業

中間報告会 (2021.11.9)

(おさらい:再掲)事業概要

働く女性と企業を総合的にサポートする女性の健康課題改善サービス

入社からリタイアまでいきいきと働ける環境を実現する女性の健康課題改善総合サービス

働く女性が様々なライフステージにおいて向き合う健康課題を総合的にカバーし
社内啓蒙～個人への処方までを一気通貫で行える福利厚生サービスをご提供します！



月経ソリューション

生理痛・PMSの改善に向けた低用量ピル処方による働きやすさ・生産性向上支援

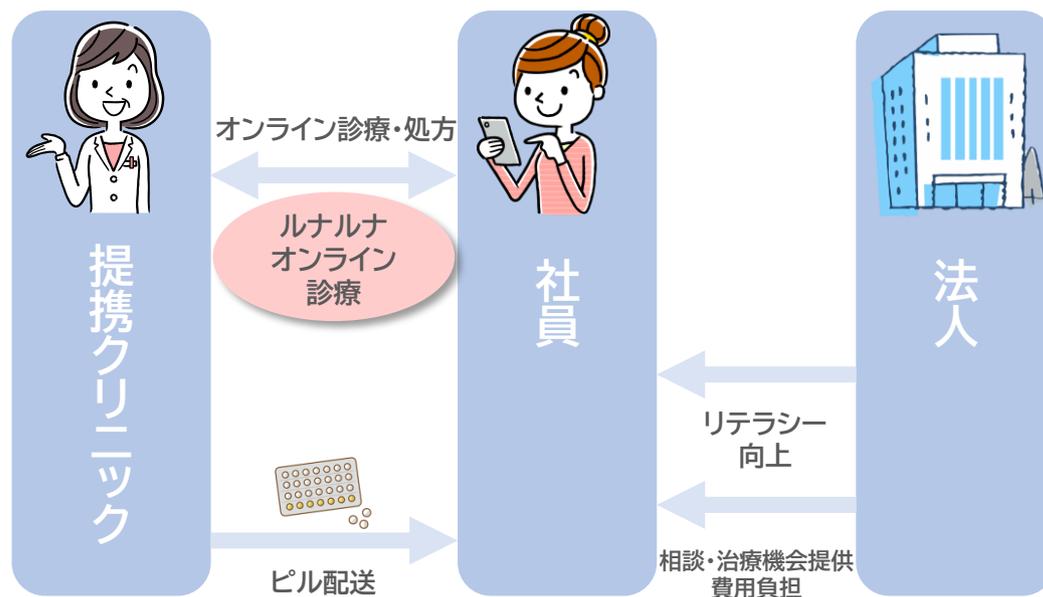
生理痛・月経随伴症状(PMS)で仕事に影響を受けつつも通院の時間が限られている社員に対して
オンラインピル外来サービスを提供し、労働損失削減と社員のQoL向上を促進

課題

- PMSの重度社員:約**2%**、中度社員:約**17.5%**
- PMSにおける年間労働損失**4,911**億円(試算)
- 日本の低用量ピルの普及率**2.9%**(フランス33.1%、英国26.1%、カナダ28.5%、米国13.7%)

サービス内容/導入効果

- 月経・女性ホルモンに関するセミナー
… 会社全体のリテラシー向上
- オンライン診療・相談
… 婦人科受診のハードル低下
- 低用量ピル処方
… PMS改善による健康状態/QoL向上
- 優秀な女性人材の活躍、企業の生産性向上



妊活ソリューション

妊活に関わる社内リテラシー向上とオンライン相談による働きやすさ・キャリアプラン支援

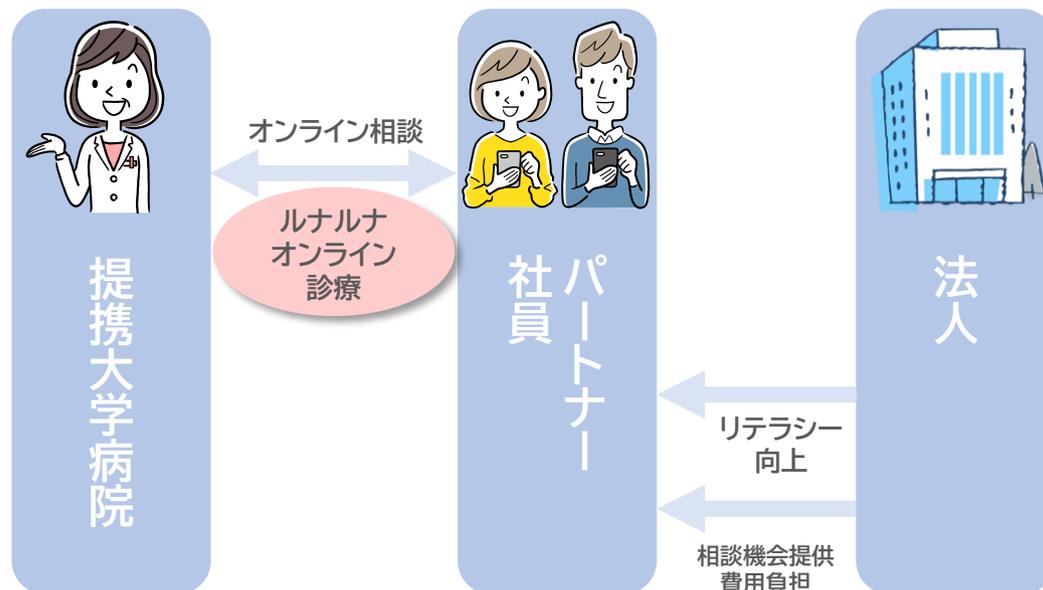
キャリアプラン・ライフプランに大きな影響を与える妊娠・出産について、社内のリテラシーを高めるとともに
個々人の事情・悩みとよりよいキャリア形成について、社員とパートナーにオンライン相談の機会を提供

課題

- 妊娠をきっかけに企業の離職経験のある女性 **61%**
- 不妊治療と仕事の両立が困難と考える女性 **83%**
- 不妊治療を理由に離職経験のある女性 **23%**

サービス内容/導入効果

- 妊活に関するセミナー
… 妊娠についての早めの知識獲得
同僚/上司/部下のリテラシー向上
- オンライン相談
… 個々人の事情によりそった悩みの解消
将来設計のサポート
- 妊娠/出産と仕事を両立しやすい職場環境の整備
ライフプラン/キャリアの早期構築のキッカケ提供



効果検証サポート

それぞれの企業の課題に沿った検証方法の設計と実施サポート

社員の働き方、職場環境や世代構成は企業によって多種多様。各社の課題意識・改善したいポイントを特定し、専門家の監修も取り入れたKPI・検証方法を個別に設計。効果的な導入を促進。

属性	検証項目	検証方法	その他 調査内容
<ul style="list-style-type: none">● 世代● ライフステージ● 職場環境● 勤務場所● 職能	<p>×</p> <ul style="list-style-type: none">● リテラシー向上度合い● 健康課題/QOL改善度合い● 業務パフォーマンス (プレゼンティーズム)● 欠勤率 (アブセンティーズム)	<p>×</p> <ul style="list-style-type: none">● 定点調査 (導入前～途中～後)● 導入者⇔未導入者比較● 労働損失削減シミュレーション	<p>+</p> <ul style="list-style-type: none">● 社員の声(課題・悩み)● サービス利用状況・満足度/継続利用意向・改善要望● 導入サービス以外の希望サービス

本サービスの4つのポイント

総合モデル

「入社」から「リタイア」まで

- ✓ 月経～更年期までソリューション提供することで**入社から退社までをカバー**
- ✓ 幅広いライフステージを一貫でサービス提供することで万遍なく社員をカバーすることが重要



一気通貫モデル

「気付き」から「改善まで」

- ✓ 女性の健康課題は本人の**「気付き」**を生むことから始めるのが重要
- ✓ 一方で最終的な**ソリューション(改善)**までのサービス提供がないと響かない(健康状態の可視化まででは“so what?”)



2つの効果検証ポイント

「会社」と「社員」双方のために

- ✓ 導入主体の人事部とサービスを受ける勤務社員の2つのベネフィチャリー
- ✓ **双方の効果検証**をすることで、導入・継続の意思決定、未導入者の参考情報にも活用



利用分のみ課金形態

導入コストはゼロ

- ✓ 各企業様の世代構成や社員のニーズに沿った効果的な利用を実現
- ✓ 実際の利用分のみのご請求で**イニシャルコスト・定額負担はゼロ**



8月～10月のトピック

8月～10月のトピック

サービス開発

- 月経・妊活・更年期PGの開発が全て完了
- 実態調査アンケートをフォーマット化

マーケティング

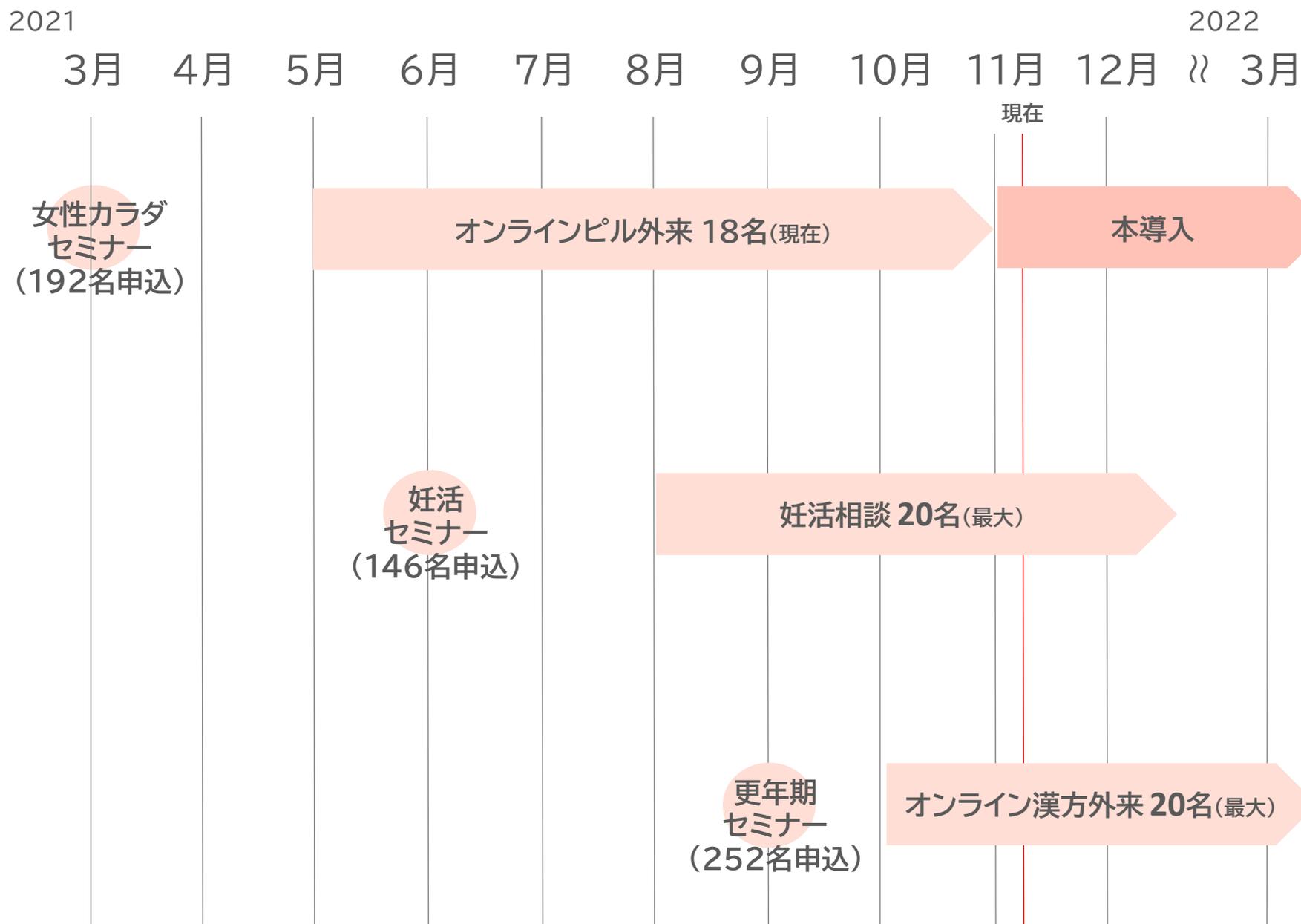
- 10月までに95社と面談／これまで12社にてパイロット導入実施・準備/検討中、11社と継続協議中
- 体制を当初6人→16人に拡大、社内専門組織も新設

実証導入

- 丸紅にて月経PG・妊活PGを、丸紅・エムティーアイにてオンライン漢方外来PGを実施

実証導入の状況

丸紅社内実証導入の状況



【月経PG】女性カラダセミナー実施概要・結果

実施日程

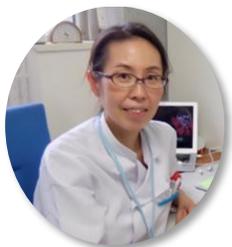
2021年3月11日(オンライン)

申込者数

192人(女性:男性=約7:3)

講義内容

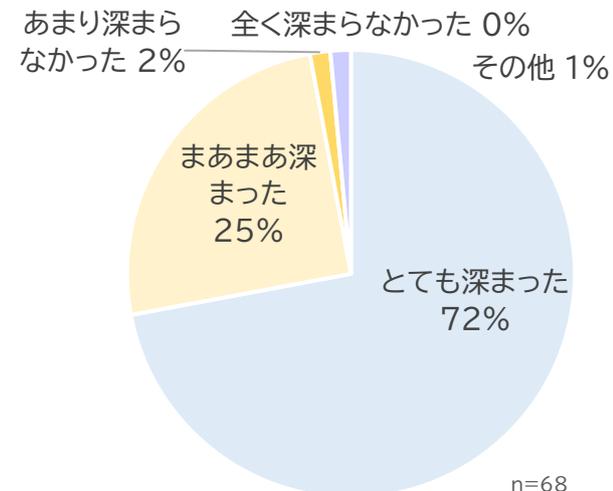
- 女性のカラダ・ホルモンについて
- 低用量ピルについて
- オンラインピル外来PG紹介



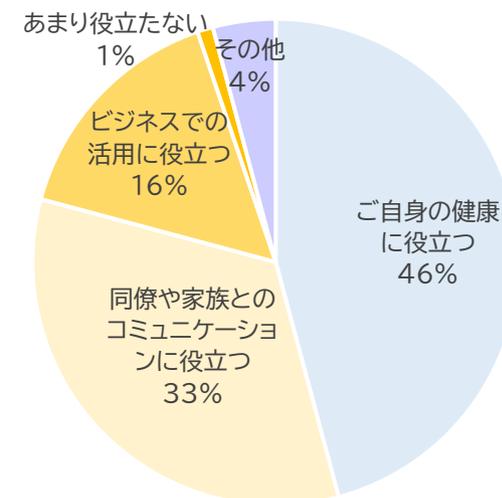
【講師】甲賀かをり先生

東京大学医学部附属病院 産婦人科 准教授
大学院医学系研究科
生殖・発達・加齢医学専攻産婦人科学講座

女性健康課題への理解度

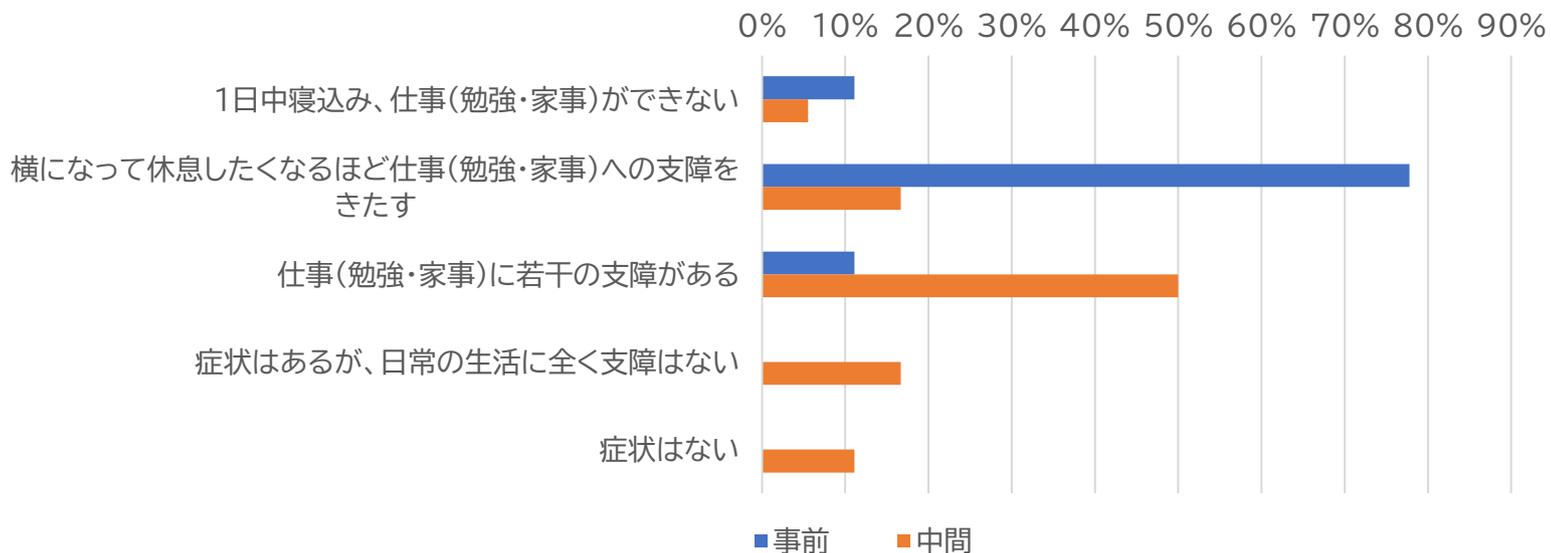


今後どう役立つか

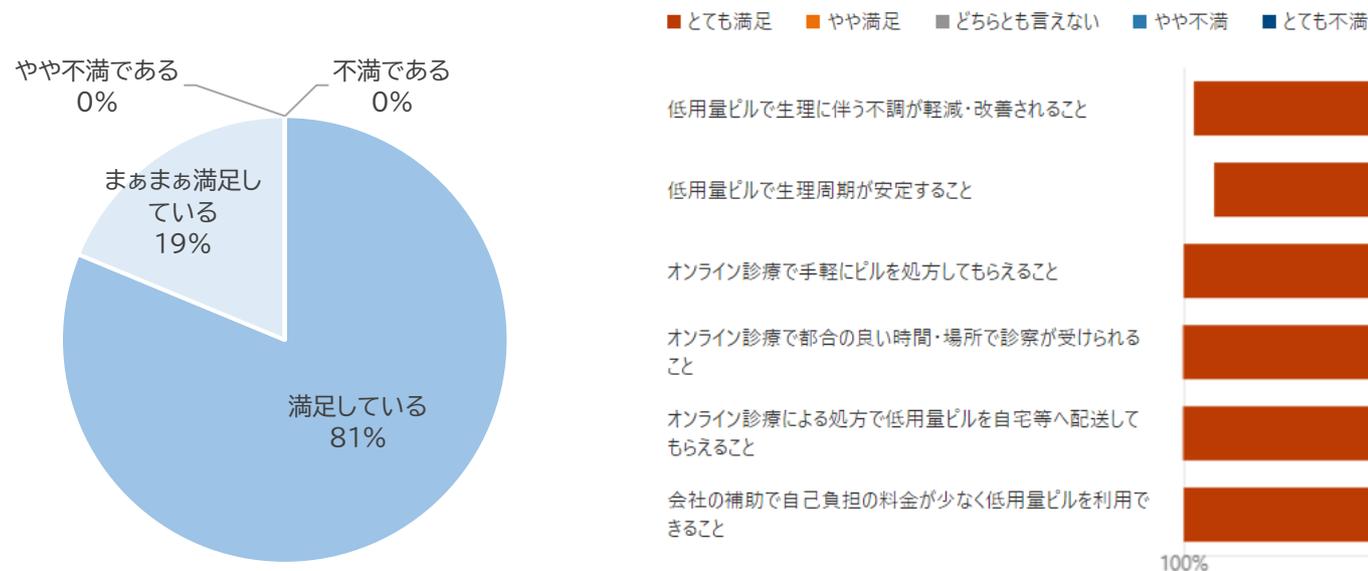


【月経PG】オンラインピル外来実証結果①低用量ピルの効果

月経随伴症状の度合い



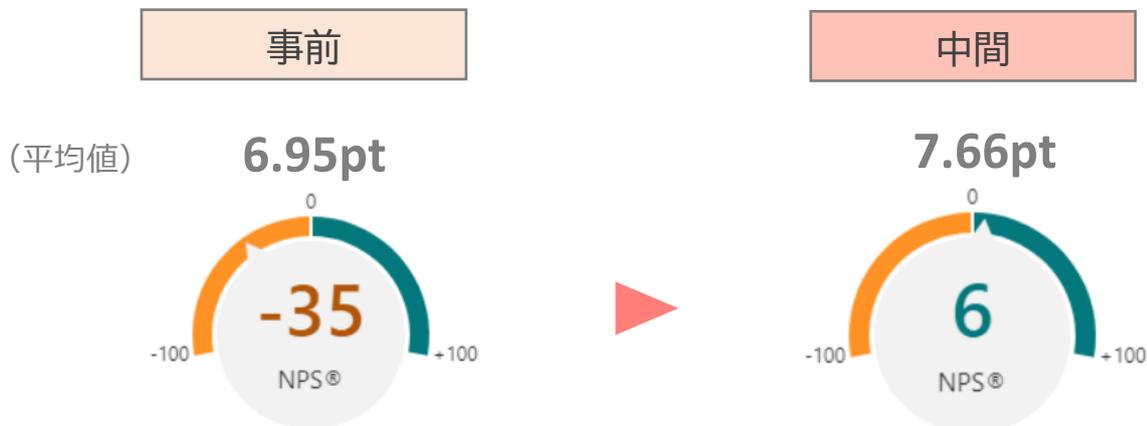
利用満足度



【月経PG】オンラインピル外来実証結果②生活状況・QoL

幸福度

とても幸せ 10pt
↓
とても不幸 1pt



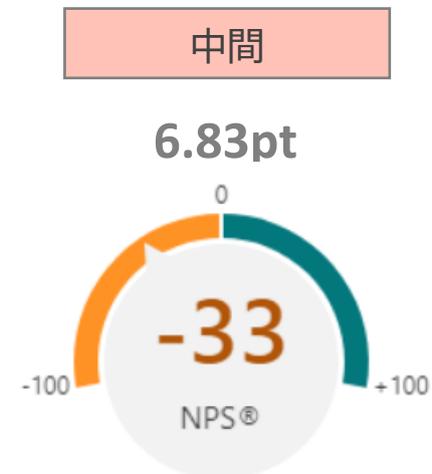
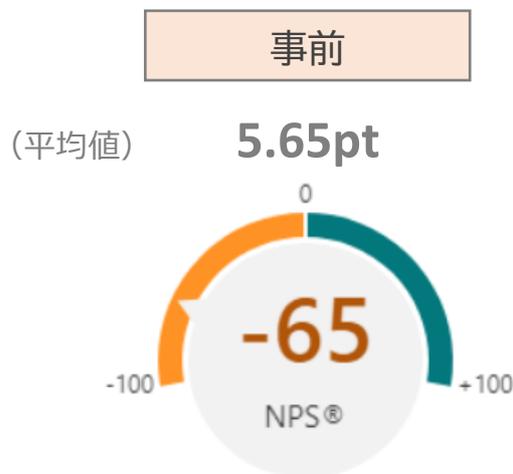
健康状態

	事前		中間	
良い	7	39%	10	56%
まあよい	5	28%	5	28%
ふつう	6	33%	3	17%
あまりよくない	0	0%	0	0%
よくない	0	0%	0	0%
	18	100%	18	100%

【月経PG】オンラインピル外来実証結果③エンゲージメント

友人・知人に丸紅で働く事を勧めたいか (eNPS)

とても勧めたい 10pt
↓
全く勧めたくない 1pt



仕事の満足度

	事前	
満足	2	11%
まあ満足	14	78%
やや不満足	2	11%
不満足	0	0%
	18	100%

	中間	
満足	3	17%
まあ満足	11	61%
やや不満足	4	22%
不満足	0	0%
	18	100%

【月経PG】オンラインピル外来実証結果④プレゼンティーズム

プレゼンティーズム（業務パフォーマンス）

直近の生理において不調を感じていた状況での自身の仕事のパフォーマンス



※ 生理に伴う体の不調がないときのパフォーマンス=100%

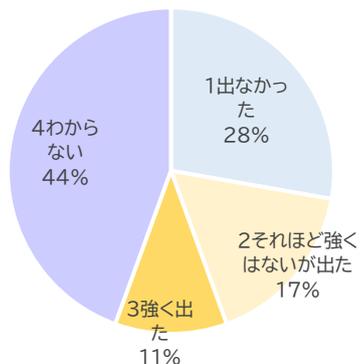
生理に伴う体の不調が仕事や日常生活に影響を及ぼす日数



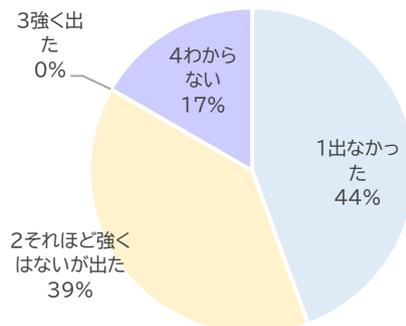
6か月間
(10月まで)
継続検証

低用量ピルの副作用

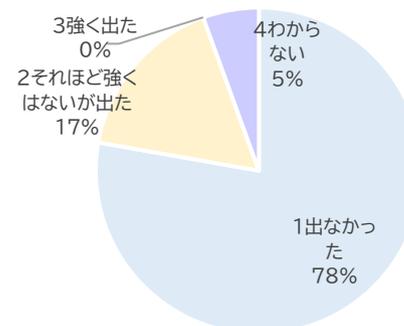
1か月目 (5月)



2か月目 (6月)



3か月目 (7月)



【月経PG】労働損失改善額の試算詳細

5ヶ月後の結果より

- ✓ 日常生活へ影響が出る日は1ヶ月あたり、0.85日改善（2.0日 ➡ 1.15日）
- ✓ 生理前から生理中の仕事のパフォーマンスは、19pt改善（65pt ➡ 84pt）

■ 対象社員1人あたりの労働損失改善試算額

約 18.6万円 / 年

■ 全社(640人)の損失改善ポテンシャル

約 2,325万円 / 年

+ α
(対象社員が生む付加価値額)

(前提)

- 39才以下の女性社員:約640人
- 月経随伴症状の重度社員2%、中度社員17.5%(合計19.5%)と仮定 ※バイエル薬局調査
- 社員1人あたりの給与を日当3万円と仮定
- 月経プログラム導入費用は月額5千円

① 1人あたり労働損失試算額(現状)

25.2万円 / 年 : 日当3万円×2.0日×(1-65%)×12か月

② 1人あたり労働損失試算額(ピル服用後)

6.6万円 / 年 : 日当3万円×1.15日×(1-84%)×12か月

③ 1人あたり労働損失試算 額計

18.6万円 / 年 : ①-②

④ 対象社員数想定

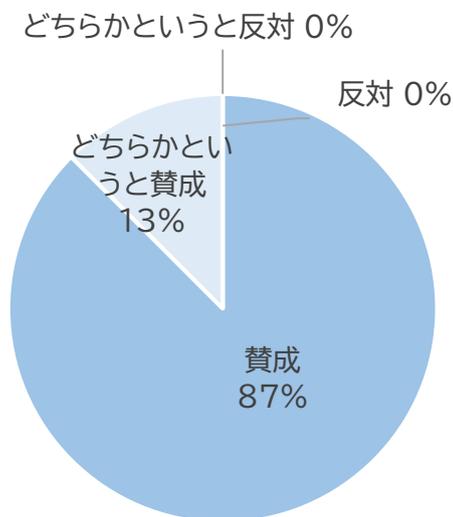
125人 : 想定女性社員640人 x 月経随伴症状重度/中度社員19.5%

⑤ 全社の労働損失改善ポテンシャル

約2,325万円 / 年 : ③x④

【月経PG】オンラインピル外来実証結果⑤サービス利用意向

本導入に関する賛否・その理由



会社サポートの元利用できるのは非常に便利で、自分で探す手間がないから

会社として本取り組みを導入することで、プログラムを利用する人へのメリットもですが、周りの方から生理痛等による大変さに理解をしてもらいやすくなるきっかけになると思いました。

身体的な負荷が下がり、業務や日常生活への支障が減っていると感じるため。

また、オンライン診療が可能、且つ予約もしやすいため、昼休みの間に相談や次回送付を依頼することができとても便利。

オンライン診療なので場所や時間の融通がきく点は、興味関心があってもなかなか実際に試せない人には良いきっかけになると思う。

ピルを続ける難しさの一つが通院時間の確保でもあると思うが、本プログラムはオンライン受診のため、通院の手間が省けて受診しやすい。(婦人科は待ち時間が長いので)また、会社のプログラムで女性の体について取り組んでもらっているので、会社への満足度が高まる。

オンライン診療なので業務が忙しくてなかなか踏み出せずにいた方も始めやすいですし、今までの不調がよくなることも多いため、業務への Positive Impactもある上、会社として支援を受けているという事実が女性社員に自信をもたらすことができると思います。

月経にまつわる体調不良が軽減し、とても生活しやすくなったからです。私の周りにも生理痛などに悩んでいる同僚が多いため、会社で本プログラムのサポートを行ってもらえると大変助かると思います。

手軽に(オンラインで)受診でき、ピルを入手できるので賛成です。ですが本格導入に際してはプライバシー保護も考慮の上、ご検討頂けると幸いです。精算方法は給料天引きにするなどして、周囲に利用していることが分からないようにするなど配慮が欲しいです。(Concurなどの精算方法ですと部内承認の取得が必要になりますので。)

ピル服用により生理中の業務効率が改善する女性が一定程度いると思われ、女性の活躍のサポートになり得ると考える。対外的なダイバーシティアピールにもよさそう。

生理のつらさを緩和させることで、女性のパフォーマンスが上がる。ひいては、会社全体の業務効率性にもつながるのではないかと。

オンラインにてピルの処方ができる為、通院の手間を省くことができるのは非常に利便性も高い。

一方で、ピルの種類や効力などの細かい点の確認がオンラインだと難しい部分もあり、別途資料等がもらえるとうありがたい。

また、対応する医療機関、お医者さんの相性もあると思うので、複数の医療機関から選べるようにしてもらえると良い。

生理に伴う不調が軽減され、業務における生産性もあがったため。

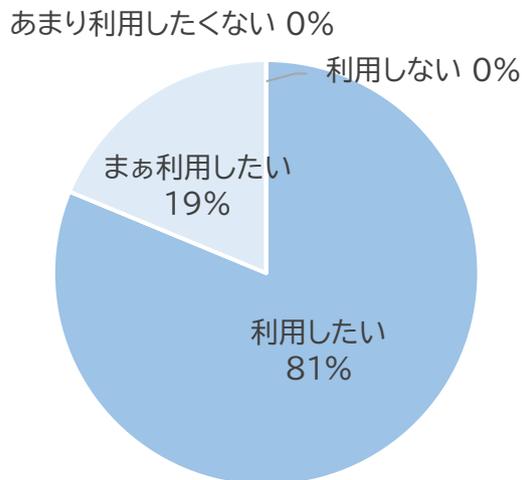
毎月生理に悩まされており、ピルに興味はあったものの、定期的に病院へ行く時間もなく、オンライン診療は少し抵抗感がありどこがよいか調べている内に、放置していました。本プログラムのおかげで、オンライン診療の病院を探す手間が省け、安心してピルの処方を受けることができました。

女性が働く上で生理はとて苦痛なものであり、仕事へのモチベーションや業務効率にも繋がります。そのため、会社としてこういったプログラムがあるというだけで、会社としてサポートしてくれているというのとはとても心強く感じるため。

女性特有(いわば先天的でどうしようもない)の生理に対して、会社負担でピルを服用することで、会社を休んだり、辛い思いをしなくて良いので会社としても仕事のモチベーションをアップしてもらえるので、良いプログラムだと感じるから

【月経PG】オンラインピル外来実証結果⑤サービス利用意向

本導入時の継続利用意向・その理由



会社サポートの元利用できるのは非常に便利で、自分で探す手間がないから

数分の診療のために、数時間かけて産婦人科に行くことを思うと、お昼休憩中に診療ができる点が非常に魅力的です。先日も少し不安なことがあった際もすぐに予約が取れ、丁寧に対応してくださり、非常に安心できました。

毎日お仕事をしながら月経不順・月経痛のストレスと付き合っていました。これらの余計なストレスなく仕事と向き合えるから。

低用量ピルの使用により、生理周期を安定させることができよかったです。一方、支払う費用によっては継続利用は検討したいと思う。

便利かつ有効と感じる機会が多いため。

生理痛は比較的軽い方だと思うが、それでもピルを服用し始めたらより日常が快適になったから。

受診の手間が省け、費用も会社負担のためかなり助かっている。本プログラムが本格導入されるのであれば是非利用したい。費用が本人負担になったとしても、オンライン受診のメリットがあるので継続利用すると思う。

オンラインで受診できることで通院の手間が省けたり、宅配にて処方してもらえるという手軽さはもちろんですが、会社として導入できたらより良い理由としては、ピルは世の中にたくさん出回っている一方、身体にダイレクトに影響するものでもあるため、会社のプログラム・福利厚生という安心感はとて大きい。本格導入したら継続したいと思います。

今回のプログラム試験導入に参加させていただいたことにより、業務の関係でずっと機会がなかった診療を受けることができ、身体的・精神的に非常に楽になりました。ぜひ継続させていただきたいです。

本プログラム利用前は生理痛などによって早退したり仕事に集中できなかったりと業務に支障が出ていましたが、本プログラムを利用してからは業務に支障が出るほどの体調不良がなくなったためです。また通院するよりも手間がかからずピルを服用できるため、継続して利用したいです。

ピル服用により生理中の業務効率が改善する

生理の際の体調管理ができるから。

費用的にも受け取り方(オンライン診療&郵送)にしても個人では簡単にできないやり方で継続できるから。

会社の費用負担がアプリ等の利用料に加えて、一部ピルの薬代も補助が出たらありがたい。

生理に伴う不調が軽減され、業務における生産性もあがったため。また、自宅から都合の良い時間に診察を受けることができるのが非常に便利であるため。

【妊活PG】妊活・不妊治療セミナー実施概要・結果

実施日程

2021年6月23日(オンライン)

申込者数

146人(女性:男性=約7:3)

講義内容

- 女性のカラダ・卵子について
- 妊活と不妊治療について
- 妊活相談サービス紹介



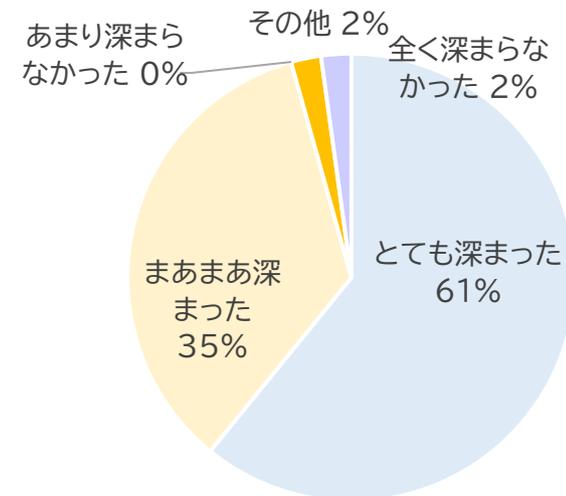
【講師】洞下由記先生

聖マリアンナ医科大学 大学病院学 講師

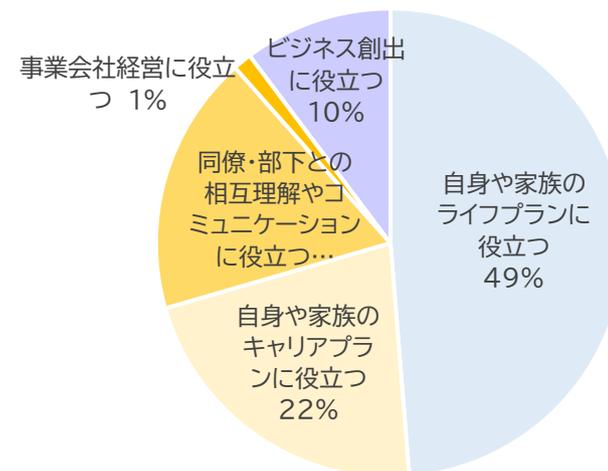
同医科大 大学病院産婦人科医長

日本産婦人科学会専門医 日本生殖医学会生殖医療専門医

女性健康課題への理解度



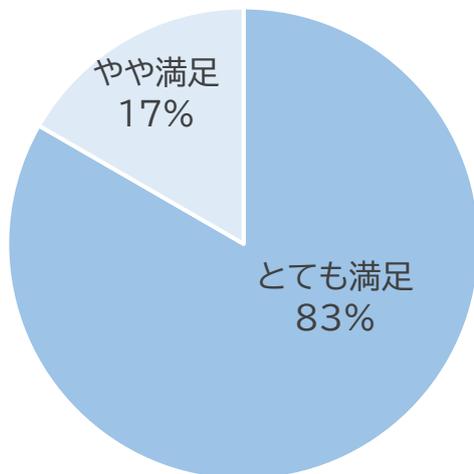
今後どう役立つか



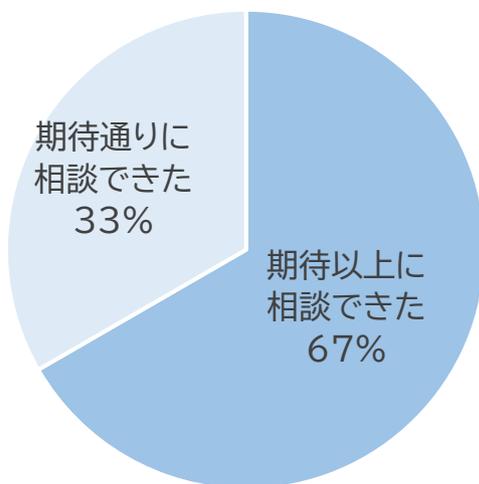
【妊活PG】妊活相談サービス実証結果

(利用者アンケート：n=6)

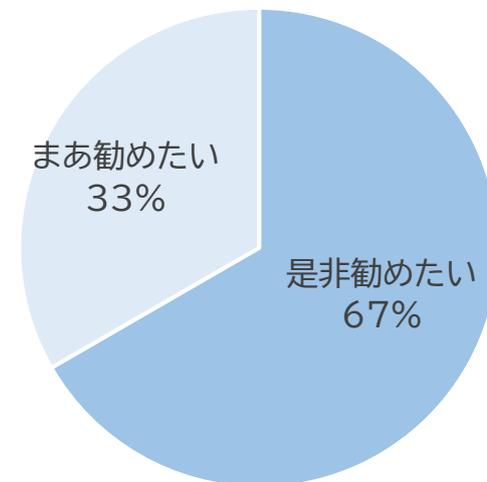
プログラム参加満足度



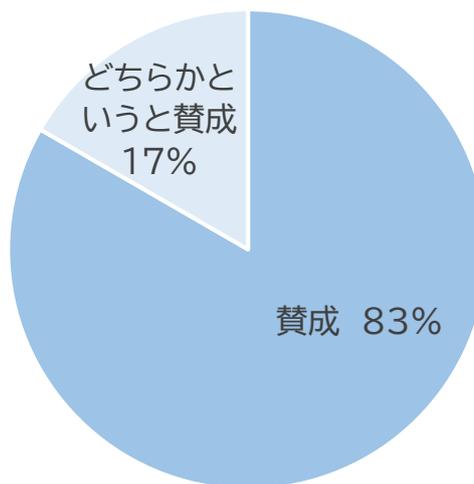
相談内容満足度



他者への利用推薦意向



本導入に関する賛否



本導入賛成理由及び利用後の感想

また利用したい

通院の頻度や精神的な負担を考えると、休職の方がいい場合もあるかと思うので。

通院時間や病院での待ち時間も省けて仕事との両立がしやすいと思いました。

丸紅の診療所でも女性の健康相談窓口を現在でも設置しているとの認識ですが、以前ある件で利用したところ、婦人科系の担当医師がいる訳でもなく、満足 of いく相談ができなかったため、このような施策は是非前向きに進めていただきたいと思います。

生活面をサポートする制度は充実しているとありがたいです。介護や通院などと合わせて整っていると社員の納得性も高いように思います。

最初治療に進む前にこう言った制度が合ったら大変助かったと思った。あまり周囲へ相談もできず、たまたま治療経験のある妻の知人がいた為、治療に踏み切れたが、それがなかったらなかなか治療に進むことをためらったように思う。

気軽に参加できるから利用したい。

病気等の症状が無い限り、待ち時間(婦人科系は特に待ち時間が長い印象)を考えるとなかなか病院へ足を運ぶ気持ちになれないが、今回のように自宅でかつパートナーと気軽に専門医とお話できたことはとても有意義だった。

専門家(医師)のアドバイスを気軽に受けることができ、便利だと感じた。

治療に関する第三者的なアドバイスをもらえる

通っている病院外の医師の方と気軽に相談ができ、具体的なアドバイスを頂くことができた為。

【妊活PG】おとな女性(更年期)セミナー実施概要・結果

実施日程

2021年9月10日(オンライン)

申込者数

252人(女性:男性=約6:4)

講義内容

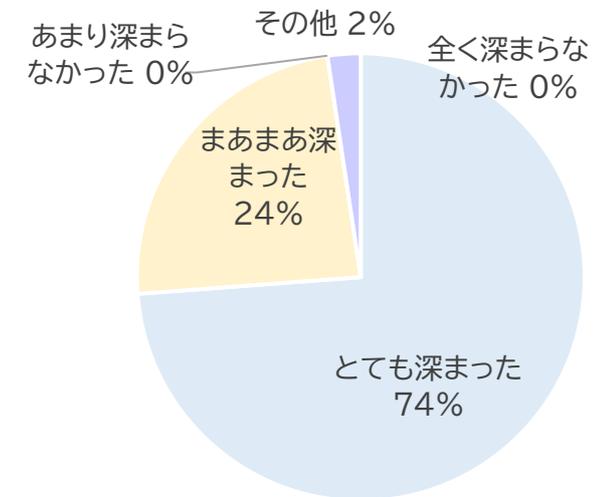
- 更年期の原因・症状・対策について
- 周囲からの接し方について
- オンライン漢方外来サービス紹介



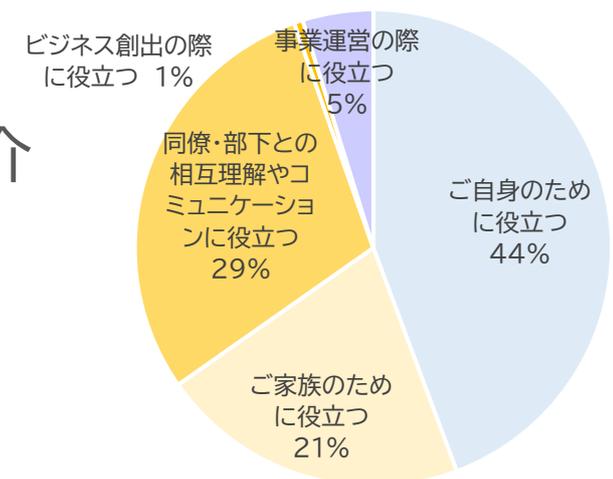
【講師】高尾美穂先生

イーク表参道 副院長
産婦人科専門医・医学博士・婦人科スポーツドクター
㈱ドームアドバイザードクター 他

女性健康課題への理解度



今後どう役立つか



【更年期PG】オンライン漢方外来実証開始

期間

2021年10月～2022年3月 6ヶ月間

対象人数

計20名(当社+エムティーアイ)

マーケティング状況

体制強化

大企業のリソースをフル活用しながらスピード感を重視

対応人員の拡大

当初(7月)

6人

Marubeni

MT エムティーアイ CARADA medica

現在(11月)

16人

Marubeni

MT エムティーアイ CARADA medica

社内専門組織の設置

当初(7月)

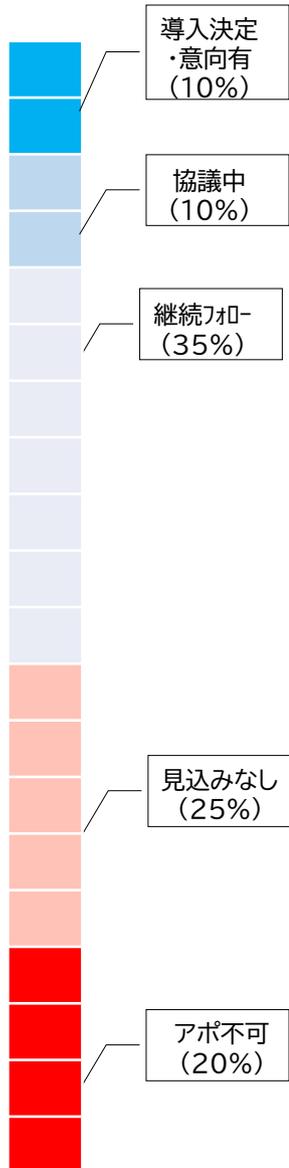
経営企画部内での
インキュベーション

現在(11月)

フェムテック事業チーム
を新設(11月1日付)

アプローチ状況

95社と面談／12社にてパイロット導入実施・準備/検討中、11社と継続協議中



パイロット導入実施・準備/検討中の企業様

業界	会社数	導入意向
生命保険	1	月経PG
化粧品	2	月経PG
医薬品	1	月経PG
建設	1	月経PG、妊活PG、更年期PG
観光	1	月経PG
生活用品・小売	1	月経PG、更年期PG
情報・通信	2	月経PG、妊活PG、更年期PG
コンサル	2	月経PG、更年期PG
商社	1	月経PG、妊活PG、更年期PG

面談を通じての気づき/課題への対応

各企業様・健保様からの声を拾い上げ、サービスを継続進化

当初あった声

特定の層のみに向けた福利厚生サービスの導入は難しい

継続導入をしていくには導入効果の見える化・検証が必要

どのような施策を打てば社員が健康課題に関心を持つのか

相談対応のみでなく実際の改善サービスまで提供しないと、社員のアクションに繋がらない

多くのサービスが存在していて、どれが安心して導入できるか判断が難しい

現在のサービスモデルを開発・展開することに

面談を通じて得た声

女性のみへの施策を導入することに社内説得にハードルがある

社内にニーズがあると感じるものの、どのようなニーズがどれ程あるか把握してない

D&Iの観点から英語版の対応も必要

- 健康経営の全体像の一施策の考え方として説明
- 行政からも意識変革・醸成のための発信、諸施策を期待

- 社内のニーズ把握を行うための調査方法・内容のフォーマット化

- 紹介資料・対応医師を順次整備中

【お問合せ先】

丸紅株式会社

経営企画部 フェムテックPJチーム

奥原 OKUHARA-S@marubeni.com

野村 nomura-yuumi@marubeni.com

株式会社カラダメディカ

事業企画部

krmgroup-03@karadamedica.co.jp